

地域包括ケアの要・保健師の人材確保を

県市長会、県町村会へ要望書を提出

栃木県看護協会の渡邊カヨ子会長、鱒渕清子専務理事と馬込公子常任理事は1月31日、県市長会会長の佐藤栄一・宇都宮市長、2月6日には県町村会会長の古口達也・茂木町長を訪問し、「地域包括ケア時代における保健師の人材確保」について、それぞれ要望書を提出しました。

「保健師」は地域包括ケア体制の構築・推進の要であり、また多様・深刻化する健康問題への早急な対応が求められています。効果的かつ質の高い保健サービスを提供するため、中長期的な視点に立った人員配置計画を策定するとともに、人材確保および適正な配置の実現が図られるように、ご理解ご支援をお願いしました。

併せて、多領域・他部署に配置された保健師の保健活動を組織横断的に調整及び推進し、人材育成や技術面での指導等の役割を担う「統括保健師」の配置も要請しました。また栃木県看護協会への入会協力もお願いいたしました。



左から鱒渕専務理事、渡邊会長、古口町長、馬込常任理事